

平成24年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
団 体 等 名	FnnnP Jr.
学生代表者氏名 (所属・学年)	宇都宮大学 国際学部 国際社会学科 3年 田中えり
責任教職員氏名	宇都宮大学国際学部准教授 阪本公美子

1. 事業名	ファミリーのびのびいこいの会
2. 実施時期	H24/4/1 ~ H25/3/30
3. 実施場所	宇都宮大学 栃木県内他
4. 事業の内容等	<p>【概要】</p> <p>FnnnP Jr.は、姉妹プロジェクトFnnnPなどと共同で、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電事故後の放射能汚染による健康被害の不安を抱える乳幼児や妊産婦を含む家族と、現在福島県から栃木県内に避難中の乳幼児や妊産婦を含む家族を対象に、細やかなサポートを実施してきた。そのうちFnnnP Jr. は、学生主体の企画として交流会を主催し、避難者同士のネットワーク形成に寄与してきた。例えば、昨年度FnnnP Jr. (旧 福島乳幼児妊産婦 学生ボランティア)は第一回ママ茶会、クリスマスママ茶会、第三回ママ茶会を開催し、参加者から「お茶会ありがとうございました。子供たちも遊んでもらってとても楽しそうでした。またお願いします。」「助産師さんに色々とお話を聞いてよかったです。色々いただいて助かりました。」「とてもみなさん親切な方で良かったです。又、子供を見てくれて、他のママとお話できて楽しかったです。」「クリスマスの忙しい時期に皆さんがいろいろと準備して頂いて下さり本当に有難い思いで一杯です。」という感想を頂いた。また、添付の通り新聞や報道でもこれらの活動が多く取り上げられ、社会でも高く評価されてきた。(ブログに詳細あり http://sicpmf.blog55.fc2.com/blog-entry-26.html http://sicpmf.blog55.fc2.com/blog-entry-114.html)</p> <p>H24/04/12 栃木県災害対策本部 発表の「東北地方太平洋沖地震災害に関する被災地から県内への避難者の状況一覧」によると、栃木県内の避難者数は2750名であり、現在も避難者は困難な状況を強いられている。加えて、アンケートからFnnnP Jr.の企画の継続の要望が判明した。よって、本年度もFnnnP Jr.は、連携プロジェクトとともに聞き取ってきたニーズに対応する形で、「ファミリーのびのびいこいの会」として交流会を企画している。</p> <p>【内容】</p> <p>FnnnP Jr.としての学生主体の活動では、妊産婦さんや乳幼児をもつお母さんのストレス解消や孤立を防ぐためのお母さん同士のネットワーク構築、ニーズ聞き取りを目的としたお茶会などの交流会を開催した(計4回)。交流</p>

会では、お母さんのみならず、子どもたちも学生とともに思い切り遊ぶことでストレス解消につながっている。なお、相談会についてはFnmnPが担当し、専門家を配置した。

◆第1回ふくしま相談会・交流会

日時：2012年7月22日（日）11:00~16:00

場所：パルティとちぎ男女共同参画センター

参加者：福島から避難しているお母さん 7人

お父さん 6人

お子さん 11人

本プロジェクト宇都宮大学教員 2人

本プロジェクトコーディネーター 1人

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクトスタッフ 1人

学生ボランティア 10人

保育ボランティア 3人

相談会では、弁護士、行政書士、看護師、カウンセラーなどの専門家7名に相談を受け付け、お子さんは別室で学生ボランティアと一緒に遊んだ。交流会では、学生ボランティアもまじえて親御さん方と、震災当時のことや現在の生活などについてお話をした。

◆第2回芋煮会

日時：2012年10月26日

場所：宇都宮大学構内

参加者：福島から避難しているお母さん 9人

お父さん 2人

お子さん 19人

本プロジェクト宇都宮大学教員 2人

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクトスタッフ 1人

学生ボランティア 10人

保育ボランティア 3人

親御さん同士で近状や栃木での生活についてお話していただいた。3歳以上のお子さんは、学生ボランティアと一緒に別室で遊び、3歳以下のお子さんは、保育ボランティアの方と遊んだ。昼食では、学生ボランティアが作った芋煮とおにぎりを食べながら交流をした。

◆第3回アンケート報告会・座談会&クリスマス会

日時：2012年12月16日(日) 10:00~12:00 13:00~15:30

場所：宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階

参加者：福島から避難しているお母さん11人

お子さん 19人

栃木在住のお母さんとそのお子さん2名

本プロジェクト宇都宮大学教員 2人

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクトスタッフ 1人

学生ボランティア 13人

保育ボランティア 1人

	<p>栃木県に避難していらっしゃる方を対象に行ったアンケート結果を簡単に紹介し、座談会では参加者の方々に、気軽に本音で語り合っていた。その間、お子さんは学生ボランティアと遊び、乳児は保育ボランティアの方にみていただいた。クリスマス会では、親子でウォークラリーなどのリクリエーションを楽しんでいた。</p> <p>◆第4回ママ・パパ茶会～子ども・被災者支援法を学ぶ～ 日時：2013年2月17日(日) 10:30~13:30 場所：宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階&第二体育館 参加者： 福島から避難しているお母さん 9人 お父さん 1人 お子さん 15名 本プロジェクト宇都宮大学教員 1人 関連プロジェクト(乳幼児・妊産婦支援プロジェクト)宇都宮大学教員 1人 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクトスタッフ 1人 学生ボランティア 12人 福島のこどもたちを守る法律家ネットワーク(SAFLAN)弁護士 1人 保育ボランティア 4人</p> <p>お子さまと福島から栃木に避難して来られている方を対象として、福島のこどもたちを守る法律家ネットワーク(SAFLAN)の弁護士の方に「子ども・被災者支援法」について分かりやすくお話しいただいた。また、3歳以上のお子さんは第二体育館で学生ボランティアと遊び、3歳以下のお子さんは、大学会館2階の和室で保育ボランティアの方と遊んだ。</p>
<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p>【事業の成果】 昨年度から、継続的に参加してくださる方々が多く見受けられ、本プロジェクトの目的でもある参加者同士の交流・ネットワーク構築や、お母さん、お子さんのストレス解消にもつながり、本プロジェクトが重要な役割を担っていることを再認識した。</p> <p>また個別相談では、より多くのニーズを聞き出し、私達の今後の活動方針を考えさせる場にもなった。第3回アンケート報告会&座談会では、「いつ戻ればいいのか、本当に戻っていいのかわからない」という、不安な思いをお父さんお母さん同士で共有し、普段の生活ではなかなか話せない話題を、本プロジェクトにおいて、気軽に本音で語り合える場として提供できた。</p> <p>【今後の課題】 FnnnP Jr. としてイベントを企画し主催することは、今年度をもって一区切りさせる方向に固まっている。避難者の方の自立という視点や主力として活動できる学生の少なさを考えてである。しかしこれは、避難者の方の抱える問題が解決されているという現状があるわけではもちろんなく、これからも同様にまたはそれ以上に支援は必要になってくる。</p> <p>よって、これまでの活動で得た経験や他の支援団体とのネットワークをうまく活かしつつ、後方支援という形で、学生としてできることをできる範囲で継続して行なっていく予定である。</p>

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
報告書（添付書類を含む）はA4判5枚以内にまとめてください。
3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

ふくしま相談会・交流会

@パーティ



ふくしまからとちぎに避難してこられている、
妊婦の方、小さなお子様のいらっしゃるご家族のための
相談会・交流会です。
相談会では悩みを話したり、交流会ではお茶を飲みながら
楽しくおしゃべりをしたり、
のんびりとした時間を一緒にすごしませんか？
ぜひお気軽にご参加ください。



◇日時

2012年7月22日(日)

[相談会] 11:00~12:00

[交流会] 13:00~16:00

交流会の時間帯のみ託児あり

- ・相談会、交流会はどちらかのみ参加も両方の参加も可能です。ご都合に合わせてご参加ください。
- ・お昼ごはんはご予約いただければ用意します(無料)ご希望の方はご参加申し込みの際、お申し出ください。
- ・交流会ではフットマッサージをご用意しております。

<プログラム詳細>

11:00-12:00	相談会	行政書士	齋藤順子 竹島尚子
		カウンセラー	北崎豊子
		看護師	小林ひとみ
12:00-13:00	昼食		
13:00-13:30	交流会受付		
13:30-16:00	交流会		



キティちゃんの本、ぬいぐるみ、
自然派コスメ「パーツビーツ」の商品、
マスク、母乳パット等プレゼントが
ございます。

◇場所

(裏面に地図あり)

パーティ とちぎ男女共同参画センター

◇お申込み

ご参加希望の方は下記の方法でお申し込みください。

なお、相談会は予約なしでもご参加いただけます。

電話またはメールにて受けつけております。

電話 028-649-5228(宇都宮大学多文化公共圏センター)

メール fukushima-children@hotmail.co.jp

いずれかの連絡先に

- ① お名前
- ② ご連絡先(ご住所、電話番号、メールアドレスなど)
- ③ 参加予定のプログラム(相談会のみ・交流会のみ・両方)
- ④ (交流会参加予定の場合) 参加されるお子様の人数・年齢・お名前をお伝えください。

■締め切り：7月10日(火) ※交通手段にお困りの方はご相談ください。

※締め切り後のお申し込みについてもご相談ください。

アクセス

◆ 案内図 ◆

JR宇都宮駅よりバスで約25分 とちぎ男女共同参画センターバス停
下車 徒歩2分



パーティ

とちぎ男女共同参画センター
(宇都宮市野沢町4番地1)

JR宇都宮駅よりバスでお越しの方

JR宇都宮駅西口8番乗り場から関東バス(日光東照宮、今市車庫、船生、山王団地、石那田方面)で約25分
「とちぎ男女共同参画センター停留所」下車
徒歩2分

お車でお越しの方

東北自動車道宇都宮ICより宇都宮方面へ6km
宇都宮環状線より日光街道を日光方面へ1.2km



福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト(FnnnP)は福島から避難されている乳幼児や妊産婦のいらっしゃるご家族を支援する活動に取り組んでいます。

また福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア(FnnnP Jr.)は、福島から栃木に避難して来られている乳幼児や妊産婦のいらっしゃるご家族の方々に対して学生ができる活動に取り組んでいます。

【主催】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト(FnnnP)

<http://fukushimanneeds.blog50.fc2.com/>

【交流会企画】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア(FnnnP Jr.)

【後援】パーティ とちぎ男女共同参画センター (公財)とちぎ男女共同参画財団

【協力】福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)

<http://sicpmf.blog55.fc2.com/>

【提供】難民を助ける会、ユニ・チャーム株式会社、パーツビーツ

【助成】大学コンソーシアムとちぎ(申請中)



いもにかい 芋煮会

こんにちは！私たちは宇都宮大学、学生ボランティアグループです。震災で小さなお子さんと避難されているご家族の方に少しでも楽しい時間を過ごしていただき、たくさん思い出を作っていただきたい！という思いから、この芋煮会を企画いたしました。

秋空の下、みんなで調理したり、ゲームしたりして楽しい時間を過ごしましょう♪(※雨天時同会場別プログラムにて開催)

各種プレゼントも用意しています！

ご参加お待ちしております！！

詳細

◆日時：10月28日(日)
午前11時～午後3時半

◆場所：井頭公園^{いがしら}
〒321-4415 栃木県真岡市下龍谷 99 番地

◆参加費：無料

◆お申込み方法：

お電話またはメールにて受けつけております。

お電話 028-649-5228(宇都宮大学多文化公共圏センター)

メール fukushima-children@hotmail.co.jp

いずれかの連絡先に

- ①お名前②ご連絡先(ご住所、電話番号、メールアドレスなど)
- ③参加されるお子様の人数・年齢・お名前をお伝えください。

■締切：10月10日(水)

芋煮会とは、主に東北地方で行われる季節行事で、秋に河川敷などの野外にグループで集まり、サトイモを使った鍋料理などを作って食べる行事のことだよ！！



～交通手段&園内マップ～



●電車・バスをご利用の場合

- ①JR 宇都宮駅下車・東野バス（宮の橋南停留所）・真岡車庫行（石法寺学校前下車・徒歩 30 分）
- ②東武宇都宮駅下車・東野バス・真岡車庫行（石法寺学校前下車・徒歩 30 分）
- ③真岡鉄道真岡駅下車・東野バス・宇都宮東武行き（石法寺学校前下車・徒歩 30 分）

●自動車をご利用の場合

- ①北関東自動車道真岡 I.C から約 8 分
（I.C 出口を宇都宮方面へ、国道 408 号バイパス直進）
- ②東北自動車道鹿沼 I.C から約 50 分・東北自動車道矢板 I.C から約 60 分

◆井頭公園管理事務所：

0285-83-3121

◆当日連絡先（芋煮会担当者）：

090-1712-6477

園内マップ



12番 野外炉
芋煮会会場

交通手段でお困りの際はご相談ください！！
皆様のご参加お待ちしております！！



【主催】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト（FnnnP）

<http://fukushimaneeds.blog50.fc2.com/>

【企画】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnnnP Jr.）

【協力】福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP）

<http://sicpmf.blog55.fc2.com/>

【提供】難民を助ける会、パーツビーツ

【助成】大学コンソーシアムとちぎ、日韓共同募金会



アンケート報告会 & 座談会 クリスマス会

2012年12月16日(日)

場所：宇都宮大学峰キャンパス
大学会館2F

10:00~12:00 第1部
【アンケート報告会&座談会】

栃木県に避難していらっしゃる方を対象に行ったアンケート結果を簡単に紹介し、座談会では参加者の方々が、気軽に本音で語り合える場の提供を致します。普段なかなか来ない大学のキャンパスで、有意義な時間を過ごしてみませんか？

お子様には、育児経験者&学生ボランティアによる
無料託児をご用意しています。

13:00~15:30 第2部【クリスマス会】

クリスマスを前に、ご家族で楽しい時間を過ごして頂けるように、学生ボランティアがレクリエーションを企画しています。

お申込み ※締め切り 12月10日(月)

- ・電話 [028-649-5228](tel:028-649-5228)(宇都宮大学多文化公共圏センター)
- ・メール fukushima-children@hotmail.co.jp

いずれかの連絡先に

①お名前 ②ご連絡先(電話番号、メールアドレス等)

③参加ご希望のプログラム

(両方/その場合昼食の要・不要

/アンケート報告会&座談会のみ/クリスマス会のみ)

④参加されるお子様の人数/年齢/お名前/アレルギーの有無など

⑤ご要望 をお伝えください。

※交通手段にお困りの方はご相談ください。

※締め切り後のお申し込みについてもご相談ください。

小さなお子さまと、福島から栃木に避難して来られているご家族を対象としたアンケートの報告会と座談会、クリスマス会のご案内です。

「アンケート報告会&座談会」と「クリスマス会」両方ともご参加の方には、昼食もご用意いたします。

【プログラム】

10:00 受付開始

10:30 第1部アンケート報告会
&座談会

12:00 昼食

13:00 クリスマス会受付

13:30 第2部クリスマス会

15:30 解散



いろいろな
プレゼントを
用意してるよ!



アクセス

宇都宮大学峰キャンパス 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

《JR宇都宮駅よりバスでお越しの方》

JRバス（乗車時間：約15分）

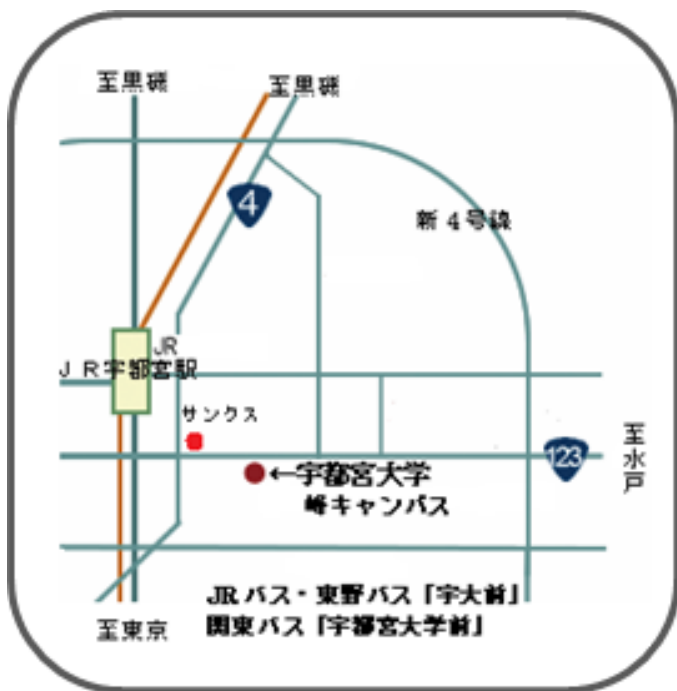
乗るバス：清原台団地(きよはらだいだんち)、清原球場(きよはらきゅうじょう)、祖母井(うばがい)、茂木(もてぎ)行など
バス停：JR宇都宮駅西口 バス乗り場3番
下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

東野（とうや）バス（乗車時間：約15分）

乗るバス：真岡(もおか)、益子(ましこ)、海星学院、清原球場行など
バス停：JR宇都宮駅西口バス乗り場14番
下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

関東バス（乗車時間：約10分）

乗るバス：宇都宮駅東循環バス（左回り）
バス停：JR宇都宮駅東口バス乗り場
下車するバス停：宇都宮大学前(うつのみやだいがくまえ)



当日連絡先：090 - 1712 - 6477（担当者：関）



福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト（FnnnP）は福島から避難されている乳幼児や妊産婦のいらっしゃるご家族を支援する活動に取り組んでいます。

また福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnnnP Jr.）は、福島から栃木に避難して来られている乳幼児や妊産婦のいらっしゃるご家族の方々に対して学生ができる活動に取り組んでいます。

アンケート報告会・ワークショップ

【主催】福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP） <http://sicpmf.blog55.fc2.com/>
【協力】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnnnP Jr.）

クリスマス交流会

【主催】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnnnP Jr.）
【提供】難民を助ける会、パーツビーツ
【助成】大学コンソーシアムとちぎ、日韓共同募金会

ママ・パパ茶会

～子ども・被災者支援法を学ぶ～

2013年2月17日(日) 10:30～13:30

場所:宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階&第二体育館

お子さまと福島から栃木に
避難して来られている方を対象とした
「子ども・被災者支援法」を学ぶ
イベントのご案内です。

福島のこどもたちを守る法律家ネットワーク
(SAFLAN)の弁護士である尾谷恒治さんに
分かりやすくお話ししていただきます。
どうぞお気軽にお越しください!

◎保育あり◎

ママさん・パパさんがお話を聞いている間、
大きいお子さんは体育館にて学生ボランティアと、
小さいお子さん(3歳以下)は大学会館にて
保育ママと遊んで頂きます(^o^)



プログラム

10:00～ 受付開始@大学会館

10:30～ 「子ども・被災者支援法」
のお話会

福島の子どもたちを守る法律家
ネットワーク(SAFLAN)

・弁護士 尾谷恒治

12:00～ 昼食&お茶会

13:30～ 解散

※ 体育館で遊ぶお子さんは

上履き・タオルをご持参ください

※ 昼食はこちらで準備いたします

当日連絡先

090-1712-6477 (担当: 関)

今回のイベントは、
FnnnP Jr.が企画する
最後のものとなる予定です。

お申し込み 締め切り: 2月12日(火)

- ・ 電話 028-649-5228
- ・ メール fukushima-children@hotmail.co.jp

いずれかの連絡先に

- ① お名前
- ② ご連絡先(電話場号。メールアドレス等)
- ③ 参加されるお子様の人数/年齢/お名前/アレルギーの有無など
- ④ ご要望 をお伝えください。

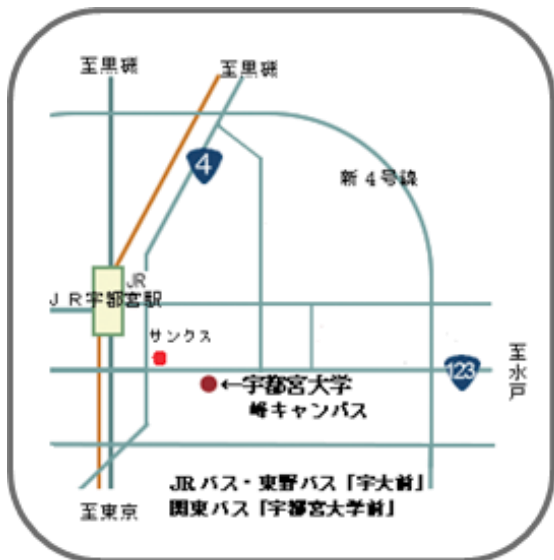
- ・ 交通手段にお困りの方は
ご相談ください
- ・ 締め切り後のお申し込み
についてもご相談ください

アクセス

宇都宮大学峰キャンパス

〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町 350



《JR宇都宮駅よりバスでお越しの方》

・ JRバス（乗車時間：約15分）

-乗るバス：清原台団地(きよはらだいだんち)、清原球場(きよはらきゅうじょう)、 祖母井(うばがい)、茂木(もてぎ)行など

-バス停：JR宇都宮駅西口 バス乗り場3番

-下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

・ 東野（とうや）バス（乗車時間：約15分）

-乗るバス：真岡(もおか)、益子(ましこ)、海星学院、清原球場行など

-バス停：JR宇都宮駅西口バス乗り場14番

-下車するバス停：宇大前(うだいまえ)

・ 関東バス（乗車時間：約10分）

-乗るバス：宇都宮駅東循環バス（左回り）

-バス停：JR宇都宮駅東口バス乗り場

-下車するバス停：宇都宮大学前(うつのみやだいがくまえ)

ありがとうございました！

福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnannP Jr.）は、福島から栃木に避難して来られている乳幼児や妊産婦のいらっしゃるご家族の方々に対して、学生ができる活動に取り組んできました。

昨年度から、ママ会をはじめ、キャンプ・相談会・クリスマス会など、さまざまなイベントを開催してきました。

ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

私たちが企画するイベントは、今回の「ママ・パパ茶会～子ども・被災者支援法を学ぶ～」

で最後となり、来年度からは、FnannP 栃木拠点やFSP とともに、

後方支援という形で活動を続けていく予定です。

ご相談ごとなどありましたら、以下にお気軽にご連絡ください。

- ・ 多文化公共圏センター（電話：028-649-5228）

FSP/FnannP 栃木拠点, FnannP Jr.

- ・ FnannP Jr.（メール：fukushima-children@hotmail.co.jp）

- ・ FSP（代表メール：fukushimachildren@gmail.com）

【主催】福島乳幼児・妊産婦ニーズ対応プロジェクト宇都宮大学学生ボランティア（FnannP Jr.）

福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト（FnannP）栃木拠点

【協力】福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP）

【提供】難民を助ける会、パーツピーツ

【助成】大学コンソーシアムとちぎ、日韓共同募金会



③ 11 後を生きる

(第3種郵便物認可)

避難者の子育て助けたい

東 京 新 聞

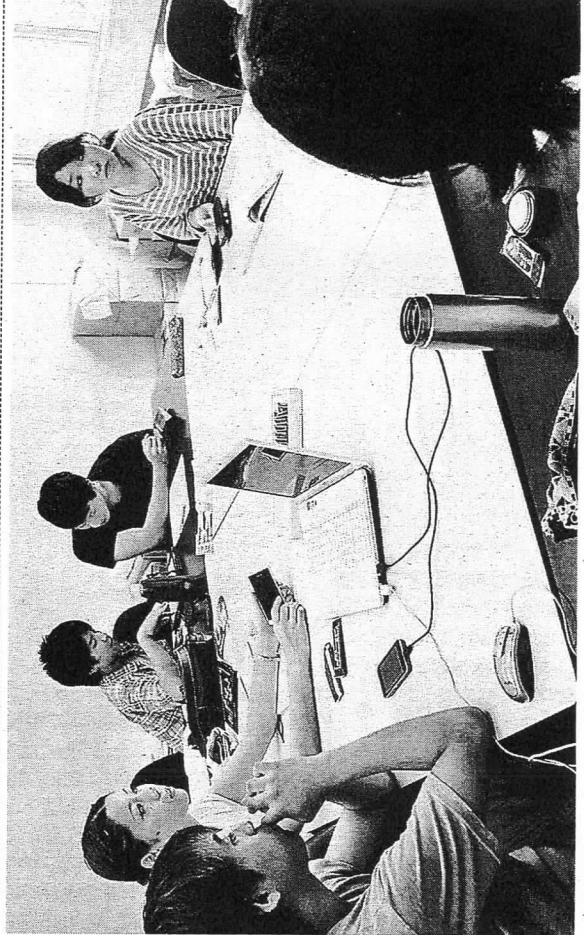
宇都宮大生が交流会

グループは「福島乳児・妊産婦に対する対応プロジェクト」で、避難してきた母親らの悩みに寄り添ってあげている宇都宮大の教員だが、学生たちに呼び掛いて、昨年四月に発足した。これを数月に一回のペースで、集例会や一旦目のキャンピングカー会などの交流会催してきた。

交流会は毎回、栃木県内各地に避難している千人ほどが参加。学生は母親の抱える不安に耳を傾けたり、参加者がゆとりを語り合えるよう子どもと一緒に遊んだりする。母親たちからは「来年子どもが学校に入學するけど、福島に戻るかどうか迷っている事になかなか続かない」と話している。

東京電力福島第一原発事故の後、栃木県内には多くの福島県民が避難してきた。中には妊婦や、乳幼児を連れた若い母親たちも。慣れない地域での子育てにはさまざまな不安がつきまとう。宇都宮大(宇都宮市)の学生で組織したボランティアグループは、そんな母子を主な対象に、定期的に交流会を開いている。

(石井紀代美)



ボランティアのちから

「家族を離れて」
「大きな夢を学生生活」
「宇都宮大」

などの悩みを聞いている。一丁四年生計十三人のメンバーは、半分以上が福島県出身者。

飯舘村に実家がある二年佐藤大さん(この家族は、福島市内に避難中。代表の三年田ましろさん(このも浪打町の出身で、実家は福島第二原発から約七キロにある。原発事故後、仕事のある父親と離れて母親が宇都宮に避難するなど家族の生活が一変した。その苦労を身をもって知るだけに「大変な状況にある人たちに何かしてあげたい」という気持ちで強い。

参加者の中には同郷者がいたり、同じ高校の卒業生がいたりして、親しみをもちやすい。私も心を開いて接することによって」と田中さん。佐藤さんは「少し知られた養育になつて交流会から帰って行く姿を見るとうれしくなる」と喜びが溢れている。

学生は、現在、野外で鍋を炊いて食べる芋煮会を企画中。秋になると、福島県内の小中学校などで行われる恒例行事だという。

栃木県内に、福島県からの避難者は現在約千五百人。被災地の除染ははかどらず、避難者の多くはいつ故郷へ戻るのめざみだたない。田中さんは「参加者の皆さんは、人ごとのつながりも求めている。学生も楽しみながら続けていくことが大切だ」と話している。

●3冊全冊2,000円(税別)
●1冊1,000円(税別)
●1冊500円(税別)
●1冊250円(税別)

「3冊全冊2,000円」
「1冊1,000円」
「1冊500円」
「1冊250円」

発行：いっしょいっしょ出版株式会社
〒162-0825 東京都板橋区神楽坂4丁目1-1

2012
11月号 10日(水) 定価 390円(税込)